



消防大学校だより



女性消防吏員活躍推進講習会（第1回） ～高市総務大臣との意見交換等の実施～

消防庁では、「消防女性活躍推進本部」を設置し、庁をあげて女性活躍推進施策を実施しているところですが、今般、その一環として第1回女性消防吏員活躍推進講習会を開催しました（平成28年12月15日～21日）。

この講習会は、女性消防吏員で消防司令補又は消防士長の階級にある幹部候補生に対して、キャリア形成を支援し、職域拡大等を目的として行うもので、全国の消防本部から学生60名が、消防大学校での5日間の全寮制の集合教育を終え、全員が無事修了しました。

今回の教育訓練は、職域拡大と今後の幹部への昇進のために必要となる警防業務を中心としたものとして編成しました。

また、講習会の最終日には、高市総務大臣から激励、ねぎらいのお言葉をいただくとともに、「女性消防吏員が活躍するために」をテーマとして意見交換を行い、これからの女性活躍推進について、改めて認識と理解を深めました。

1 本講習会の主な訓練の概要

(1) 実火災体験型訓練（ホットトレーニング）

消火活動を実施する上で必須の「火災性状」の理解を深めるため、ワンルームマンションを想定した奥行き12mのコンテナ内で、木材を燃焼させて火災現場と同様の熱、煙の状況をつくりこれを観察するとともに、注水による熱環境の変化を体験しました。



実火災体験型訓練の様子1



実火災体験型訓練の様子2



高市総務大臣との意見交換会



高市総務大臣との記念写真

(2) 指揮シミュレーション訓練

部隊運用に必要な指揮の基本を修得するため、3人1組となり、火災発生時の指揮隊の活動についてシミュレーション訓練（図上訓練）を実施しました。

学生は、シミュレーションシナリオの災害状況・活動条件の付与に基づき、命令（指示）、実行（活動）、評価という「指揮サイクル」を繰り返し訓練することで、消防活動における部隊の役割の認識と理解を深め、実動で実施する消防活動訓練に臨みました。



指揮シミュレーション訓練の様子



課題研究発表の様子

(3) 消防活動訓練（実動）

学生を3班（各20名）に分けて、班ごとにポンプ隊1隊、救急隊2隊を編成し、教育支援隊（東京消防庁品川消防署、浅草消防署等）と連携した活動訓練を実施しました。

訓練は、複合用途の建物（1階店舗、2階住宅、3階共同住宅）の2階住宅の台所から出火・延焼中、逃げ遅れが想定で実施し、指揮者（中・小隊長）に必要な知識、技術の修得及び指揮隊を中心とした各隊の連携活動要領に関する知識、技術の修得に努めました。



学生で構成したポンプ隊の活動状況

2 課題研究等

座学では、今後、幹部として必要になる最新の消防行政や消防人事管理などの講義のほか、課題研究として、学生各自が持っている問題意識等を入学前に研究してもらい、研修期間中に各自が持ち寄った考えについてグループ討議、発表を行うことで、プレゼンテーション能力の向上及び情報共有、今後の活躍に繋げる意識の向上を図りました。

課題研究発表では、全国各地で活躍する先輩の女性消防吏員5名をコメンテーターとして招き、ライフステージの各場面における様々な課題に対してアドバイスをいただきました。

全ての研修を終えた学生からは、「各地から集まった女性消防吏員と交流できたことは大きな励みになり、各所属の取組について情報収集することができた」、「全国の女性消防吏員の方々とのネットワークを作ることで今後の具体的なキャリアプランを見出すことができた」等の感想が多く寄せられました。

本講習会により、警防活動に係る知識や経験を、より主体的に獲得しようという意識が高まったものと考えられます。

今後は、修了生それぞれが、消防大学校での経験を契機として学びを深め、全国の仲間とのネットワークを構築しつつ、地元消防本部で着実に実績を重ねて幹部職員となり、女性の活躍が当たり前という状況が多くの消防本部で実現することを期待しています。

また、平成29年度は、本コースの定員を48名から60名へ拡大するとともに、今回の修了生からの感想、意見を踏まえ、教育日数を5日から7日に増やして、教育内容を充実するほか、引き続き、各学科の定員の5%を女性消防吏員枠として、優先的に女性の入校を推進することとしています。

消防大学校では、各学科、コースともに女性職員の積極的な入校をお待ちしています。

★消防大学校の最新情報は、ホームページ (<http://fdmc.fdma.go.jp/>) に掲載しています

問い合わせ先

消防大学校教務部 戸嶋助教
TEL: 0422-46-1712